

人材の発掘・育成に取り組み

谷公一 県連副会長は解散へ決意を語った

自民党県連 総務会開く

統一選へ支持回復期す

衆院6、7区候補を近く発表

自民党兵庫県連は5日午後、神戸市内で、統一地方選の勝利と政権奪回を掲げて県連大会に代わる総務会を開催、約百人が出席し活動方針などを採択した。

冒頭、あいさつに立った谷公一県連副会長(衆院議員)は、民主党政府が予算案を関連法案と分離して採決したことについて「過去に例のない許し難い暴挙」と厳しく批判、「さまざまのことを追求し、解散総選挙に追い込む」と決意を述べた。

そして「民主主義に昨年末までの勢いはない。しかし、支持がわが党に向くには至っていない」と統一選に向けた状況を分析、「こうした人たち

が自民党支持を回る一層の取り組みを」と奮起を促した。

次いで、来賓あいさつでは相次ぐ地域政党に懸念が示された。井戸知事は「地域の課題は党派、イデオロギーに左右されることは少ない。話し合いで適切な解決を見出すべき。そのため地方分権が必要」と首長と議会の対立に警鐘を鳴らした。

また、矢田市長は「減税を叫ぶならば、サービス削減の部分を明確にしなければならぬ」と疑義を唱えた。

続いて、鴻池祥肇参院議員が「国旗国歌法案に反対した人間が、ひな壇に半分以上いるような政党に国は任せられない」と持論を主張した。

この後、五島たけし県連幹事長(県会議員)が活動方針などを提案し、満場一致で承認した。

活動方針では、地方組織の整備を含めた活動の充実、各種友好団体との連携強化、人材の発掘と育成強化などを盛り込んでいる。

終了後、谷副会長、五島幹事長、平野総務会長らが記者会見し、空白区となっている衆院兵庫6区に44歳男性・大学准教授、7区に43歳男性・外資銀行社員の公募候補を内定、近く発表すること

を明らかにした。



県連大会に代わる総務会

統一地方選の勝利を掲げて

解散へ決意を語った

が自民党支持を回る一層の取り組みを」と奮起を促した。